

熊本市議会
市民連合

みなさん、こんにちは 市議会だよりです

2012年 秋号
(通算 No.182)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
【議員室】 TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第3回 定例会

7月の豪雨災害の復旧関連で約24億円を補正 市は「都市政策研究所」を新たに設置

第3回定例会は、8月27日(月)から開催され、71議案を可決・承認し、9月18日(火)に閉会しました。予算案件では、一般・特別会計補正予算案を審議し、豪雨災害の復旧関連補正23億9,411万円を含む、計29億5,255万円の予算を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,794億1,658万円、特別会計2,036億2,363万円、企業会計820億5,523万円。4件の予算案件以外では、決算6件、条例11件、人事6件、その他36件を可決しました。

市長は防災力強化の決意表明

8月27日の開会日、幸山市長は冒頭、7月12日の北部豪雨災害の被害状況などの報告を行い、被災地の早期復旧と、「避難指示等のあり方に関する検証部会」の9項目の勧告を受けて、対応方針に取り組むとし、市の防災力の強化に向けての決意を述べました。

また、7月26日から28日まで、韓国浦項市で開催された「アジア太平洋都市サミット」についての報告。さらに、議員の酒気帯び運転の不幸事象の報告と謝罪があり、「飲酒運転撲滅宣言」の取り組みの報告がありました。

本会議では補正予算案件の他に決算6件、条例案件11件、その他の案件42件などについて審議しました。

条例議案の主なものとして「熊本市事務文書条例の一部改正」により、本市の中・長期的なまちづくり構想に資する調査研究活動や、議員の政策形成能力の向上を図ることを目的に、内部組織として「都市政策研究所」を設置することになりました。

補正予算の主な事業内容は以下の通りです。

【災害関連事業】

- 被災者救援、災害復旧経費20億8,545万円
- 被災者生活支援経費2億3,728万円
- 防災対策経費7,138万円

【総務部門】

- 備蓄計画に基づく分散備蓄用資機材等の購入経費(4,200万円)



7月12日の豪雨で被災した熊本市南東部の環公団の南東側



南消防署の建設予定地(現在は平田出張所)

費(4,200万円)

【企画振興部門】

- 総合行政情報システム最適化事業に係る経費(900万円)と業務委託経費・機器借り上げ料の債務負担行為(13億8,900万円)

【教育部門】

- 小中学校の下水道料金の適正賦課のためのメーター設置経費(2,400万円)

【健康福祉子ども部門】

- 老人福祉施設7施設の開設準備経費(6,300万円)

- 各区役所配置のケースワーカー嘱託職員の雇用経費(2,077万円)

- 校区単位の健康まちづくり推進経費(610万円)

【環境部門】

- ごみ減量推進のための家庭用生ごみ処理機の購入経費助成(1,000万円)

【農工商部門】

- 就農初期段階の青年就農者給付(8,062万円)
- 仮称「榎木町農産物の駅」建設に伴う用地測量等の委託経費(610万円)

【都市建設部門】

- 中心市街地の放置自転車整理のための指導員の増員経費(890万円)

- 市営合志団地の防音改修費(1,400万円)

【消防部門】

- 平成26年4月開設予定の仮称「南消防署」建設工事費(1億7,300万円)と債務負担行為(4億6,320万円)

【企業会計/上下水道部門】

- 東部浄化センター運転管理業務委託に伴う債務負担行為(9億4,000万円)

- 水の科学館の指定管理に伴う債務負担行為(2億827万円)

【一般質問】

市民連合からは、田辺正信・福永洋一両議員が登壇しました。田辺議員は「中心市街地開発」「伝統工芸、現代工芸産業の振興」など、福永議員は「市の危機管理体制のあり方」について、両議員ともに鋭い質問を行いました。

常任委員会 予算決算委員会 報告 各分科会

総務委員会 田辺正信

委員会に付託された補正予算の主なものは、熊本市備蓄計画に基づく分散備蓄用資機材等の購入経費、年末調整及び旅費、臨時職員等事務の委託経費と、それに伴う債務負担行為等について、審議が行われた。

その中で、特に各議員から指摘されたのが、旅費の事務処理を外部へ委託することだった。

現在、職員等の旅費は年間2億9千円になるが、それを特定の旅行者に委託することになれば、特定の旅行者によって全ての旅費の取り扱いがなされることに対する問題指摘があった。長時間にわたって審議が行われた結果、旅費の外部への委託について、各委員の説明を行い理解を得ることとなった。

企画教育市民委員会 東田 尻 将博

企画振興局関係は、10月からスタートする「熊本市都市政策研究所」は市長直下の内部組織で、各局から独立した位置づけとなり「政策・地域課題の調査研究」などの活動方針や、組織の位置について議論した。

教育委員会関係では7月25日に発生した「花園小学校プール事故について」説明を受け、

他の政令市の夏休みプール開放状況、各学校PTAの危機管理体制、監視体制など報告を受けた。また政令市に伴い「熊本市立高等学校等教職員の任用について」の主な内容は管理職の登用、教員の採用選考事務、市立高校から県立高校への異動、研修交流などの説明を受けた。

福祉子ども委員会 福永洋一

委員会では、決算6件および補正予算・条例の各2件についての審議と、地域主権改革に伴う条例制定・市立保育園の民営化についての報告があった。決算関連の審議では「法人・施設の指導監査の徹底と改善に向けての強化策」や「障がい児等発達支援事業としての地域発達支援ネットワークの拡充」などを

要望した。予算関連では、各区校所配置のケースワーカー嘱託職員20名の緊急雇用について、採用時の研修、業務上の徹底や、今後も専門職としての正規職員の配置に向けて努力するよう要望した。また、県の「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」の施策推進のための今後の具体策を求めた。

環境水道委員会 上田 芳裕 家入 安弘

9月議会では、平成23年度決算および7、12豪雨災害関連経費として、災害廃棄物の収集運搬経費・扇田環境センター処理経費として約2億円、家庭用生ごみ処理機の購入費助成の増額補正等の提案がありました。

特に、平成23年度決算に対しては、本市の緑化事業である屋上緑化・緑のカーテン事業が

推進できない現状や、上下水道総合管理システムの開発状況について意見が出され、それぞれの事業推進のため進捗管理・計画値の設定などが要望されました。また本市社会福祉法人の下水道使用料免除行為に対しては、事実確認に基づき、脱法事案として毅然とした対応を求めました。

経済委員会 田上辰也

九州北部豪雨災害の補正予算について、市長の上乗せ補助の実施とともに引き続き十分な支援を求め、本市が地元との一元的な相談窓口となり、積極的な情報提供を行い、早急な営業再開の支援を要望した。

食肉センター廃止の取り組みについて、昨年度の決算で12億円もの不利益が生じたことは前代未聞で

あると指摘した。食肉センター会計の歳入に占める一般会計繰入金割合が、毎年約8割に及んでいることは、と畜業務の移転を困難にしている要因でもあり、健全な運営が図れるよう業務内容の精査を求めた。

この他、産業振興資金会計による貸付実績の減少、障がい者や母子家庭に関する雇用奨励金等、多くの問題を検証した。

都市整備委員会 西岡誠也

熊本市公共交通基本条例・バス路線網の再編・コミュニティ交通についての検証状況が報告され、①交通不便地域の定着(バス停・電停・駅から500m)について、高齢社会の今、500mは無理があり、300mにすべきだが、交通不便地域は地域主体となっており、行政がアドバイスなどを

しなければ手を上げる地域があるのか、などの意見が、これに対し①きめ細かな路線を設定する場合、福祉的なもので検討すべき。②区並びに交通政策課で支援しながら進めていく。さらに、公共交通協議会の部会・委員会で意見は尊重するののかとの指摘に対し、尊重しながら対応したいとの回答があった。

採択された意見書

- 「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書
- 自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書
- 中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書
- 気象事業の整備拡充を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書

- 国庫負担による義務教育「少人数学級の早期拡充」に関する意見書
- 立野ダムの建設推進を求める意見書
- 陸上自衛隊定員の増員と防衛予算の増額を求める意見書
- 第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の日本招致に関する決議

みなさん
こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



どういそつ



各区のまちづくり検討会進む。カギは区民との協働

7月11～12日の豪雨により、被災されました市民の皆様には、心からお見舞い申し上げます。

温暖化の影響でしょうか、今年の梅雨は北部九州豪雨と名付けられたように、未だ経験のない集中豪雨で終わり、例年にない暑い夏が続く一気におと秋へと早変わり、熊本市も雨季乾季の季節に進んでいるかのようです。

市政は、政令市移行から半年が経ち、急ピッチで各区役所のまちづくりの検討会が開催されています。特に市政リレーシンポジウムは、7月7日の第1回「区のまちづくり」国際交流会館(副議長の立場でパネラーとして参加)から始まり、西区・南区・北区・東区・中央区の5区で開催後、「まとも」として第7回リレーシンポに、市長、議長がパネラーとして参加され総括集約されます。

そして12月には、各区の振興ビジョンが誕生し、区民の皆さんと協働で特徴あるまちづくりが期待されます。

さて、第3回定例会議は、23年度決算審議の日程追加で、8月27日開会、9月18日までの22日間開催されました。

政令市移行後の2回目の定例会議は、主に九州北部豪雨による被害対策関連補正予算をはじめ、条例改正、教育委員会委員・固定資産評価審査委員会委員、人権擁護委員の選任同意、議会関係では、政務調査費の交付に関する条例の一部改正(新議会図書館で閲覧を請求することができる)、市議会委員会条例の一部改正は、市長直下の新組織「都市政策研究所」を企画教育市民委員会の所管事項に加える条例の改正、また、わが会派で賛否が分かれた意見書を紹介します。「立野ダム」の建設推進をもとめる意見書「陸上自衛隊定員の増員と防衛予算の増額を求める意見書」については、8月に実施されました「九州北部豪雨の検証委員の立場」と「防衛議員連盟・防衛基地協の議長役員」から民主党所属の田尻・田辺・上田3議員は賛成し、賛成多数で可決されました。

西区の課題

赤字路線のコミュニティバス運行 利便性向上のために地域の要望反映を

政令市移行から半年が経過。定例会議では、政令市移行後の業務運営・甚大な被害を被った龍田地区の災害復興や避難場所の確保や運営、北区役所と龍田出張所の対応などに質問が集中し、水防本部や各区役所の危機管理体制の今後の在り方について議論、特に西区は海・山・川を区域に抱え、地域と一体となった危機管理体制を望むものであります。

さて今回は、コミュニティバスとしての区バスと住民バスについて、連載で報告したいと思います。

政令市移行後の利便性向上を目的として、コミュニティバスの運行を計画、各区役所までのアクセスを中心に、区バス(ゆうゆうバス)を地域のバスとして、日常生活でも市民の足を確保することを目的で新設され、区役所間(既存バス利用)を結ぶルートの新設、北区3ルート・東区3ルート・南区西部3ルートが編成され、9ルートが導入されました。ルート選定につきましては賛否両論の激論もありましたが、結果は平均乗車者2人の大赤字路線となっています。

西区は、有明海と金峰山を中心とした山間地や、海岸地区に点在する集落は高齢化が進み、公共交通機関導入を待望する地区です。しかし、南区西部3ルートは、城山車庫発、



西区を通過する南區を走る区バス。この日も乗客はいなかった。(砂原町)

城山小経由で砂原町へなど南区の足の確保として導入されましたが、西区役所まで行く路線でもありません。大変残念です。

区バス(ゆうゆうバス)路線選考の基準には既存の路線バスがあります。便数に関係なく路線バスルート停留所から500m以内は区バスの対象外となっており、西区役所管内の区バスの路線はありません。

参考までに、西区役所は小島7丁目に所在し、既存のバス路線に区役所や西高の停留所がありますが、区役所職員や西高生徒の通学にはほど遠い、利便性の無い公共交通機関です。今年度に検討されている公共交通基本条例に期待し、地域に合った導入可能なタクシーを利用したデマンド方式について次号で報告したいと思います。

副議長活動記

全国市議会議長会や中国南寧市に行く 7月の豪雨災害の検証委員会で意見を述べる

今回は副議長の日常業務について紹介します。7月に入り、5日、東京・全国都市会館で、全国市議会議長会基地協議会理事会に出席。「基地交付金・調整交付金増額確保」など重点要望事項を確認しました。また11日、同会場で全国公営交通事業都市議長会第79回総会、翌12日の全国市議会議長会第188回理事会が開催され、役員補選や要望事項などの報告を受けました。

初の海外出張は、中国広西壮族自治区から友好提携締結30周年式典に招聘され、7月17日から21日の5日間の日程で、南寧市で開催された式典や、広西壮族自治区内の各市と友好提携の世界各地の自治体(県内では熊本市と八代市)が一堂に揃う国際大会に出席しました。熊本市は32年前から県に先行して、中国広西壮族自治区内の桂林市と友好都市にあり、相互の交流を実施しています。

県内関係では、25日熊本市周辺自治体合同の国道3号線植木バイパス・国道3号有明海沿岸道路・地域高規格熊本環状道路の各建設促進期成会総会に出席、県・九州・国交省への要望などの事業報告・計画を聴取しました。

8月に入り、2日の熊本市保健協議会総会、3日の子ども議会、火の国まつり開幕式典に



7・12九州北部豪雨災害で被災した龍田地区

出席、15日は日本武道館で開催された全国戦没者追悼式に出席。なお、県主催の追悼式には知事・各市長・各議長・国会県会議員の皆さんが出席するので、熊本の代表として熊本市議会副議長が毎年出席しています。

議会内では九州北部豪雨災害義援金贈呈のため、延岡市・福井市・宇城市の各議会の議長表敬を受けました。また、九州北部豪雨災害を受け、避難指示・勧告の在り方について、8月の1ヵ月間で結論を出す、有識者・マスコミ・議会代表でつくる検証委員会が設置され、議会代表として、副議長と総務委員長が委員として4回の検証委員会へ出席し、意見を述べました。25日には、県歌式野球選手権・読売旗大会開会式に出席、選手激励のあいさつを行いました。



市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ!

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市西区上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahirotaguchi@tkz.bbq.jp